

A 昨年度の推進会議でいただいた意見の反映についての対応等

1

ヘルプカードの効果が上がるようなアイデアについて (高橋委員)
サポーターとヘルプカードを利用されている方のマッチングというものはあるのでしょうか。

(推進会議での回答) 課名(障がい保健福祉課)
良いご意見なので、検討させていただきたいと思います。

【その後の対応】
障がいの理解を深めていただくことを目的として、障がい者サポーター研修を受講していただいた方を全てサポーターとして位置付けていますが、名簿の管理までは行っていないところです。
ただし、研修の中でヘルプカードの説明を行っており、カードをお持ちの方を見かけた場合は、声掛けや支援などの配慮を行うようお願いしています。

2

ヘルプカードの制度について (民永委員)
すごくいいなと思っている。実際に使っている方のご意見を聞いてみたい。

(推進会議での回答) 課名(障がい保健福祉課)
今回の意見を踏まえ、体験談等を募集するようなことを考えていきたい。

【その後の対応】
ヘルプカードはどなたにでも自由に配布していることから、使用者の特定は難しい状況にあります。ただし、様々な機会を捉えて、利用者の声を聴く機会を設けることができたらと考えています。

1

P.(17) 番号(04-01) 担当課(秋津まちづくりセンター・公民館)
P.(18) 番号(04-02) 担当課(東部まちづくりセンター)
P.(19) 番号(04-03) 担当課(清水まちづくりセンター)
P.(66) 番号(20-03) 担当課(東部まちづくりセンター)【再掲】

P.(44) 番号(08-04) 担当課(託麻まちづくりセンター)
P.(45) 番号(08-05) 担当課(東部まちづくりセンター)
P.(46) 番号(08-06) 担当課(飽田まちづくりセンター)
P.(47) 番号(08-07) 担当課(南部まちづくりセンター)

(鈴木委員)

同じ企画内容のようにみえますが、評価や課題、対応策の書きぶりが異なっています。同じ講師が複数の企画に登壇することがありますが(このこと自体は問題はない)、企画担当部署間で評価や今後の課題について情報交換があってよいと思います。

(回答) 課名(秋津・東部・清水・託麻・飽田・南部まちづくりセンター)
(秋津まちづくりセンター)

社会教育主事会で様々な講座に関する講師の情報交換を行っている。今回の講演会について、コンサート形式で多くの方が参加しやすく、体験をもとにした歌、講師の体験を直接聞くなど視覚障がいに関する理解を深めるよい機会となるなど情報共有を行い、公民館ごとに地域の方の人権尊重の理念の普及・理解を深めることを目的に行った。

(東部まちづくりセンター)

月一回開催している社会教育主事の集まりで、様々な講座に関する情報交換を行っています。

地域の実情に応じて課題が変わってくる部分もあり、その点をさらに話し合い、共同解決することでよりよい講座へと変わっていくよう会議を行っています。

(清水まちづくりセンター)

日頃より、社会教育主事間で様々な情報交換を取り交わしており、また月に1度、社会教育主事会を開催し情報共有の場を設けています。

事業実施後の事業評価や課題についても、社会教育主事会で情報交換等を行い、更なる事業向上へ努めます。

(託麻まちづくりセンター)

企画については、社会教育主事会等で定期的に情報共有しておりますが、今後は事業実施後の課題等についても情報交換を行ってまいります。

《次ページへ続く》

(飽田まちづくりセンター)

今後は担当部署間での情報交換等を行っていききたいと思います。

(南部まちづくりセンター)

今後は社会教育主事会等で情報交換を図っていくこととします。

2

P.(31) 番号(05-01(-20)) 担当課(熊本市立必由館高等学校)

P.(78) 番号(20-15) 担当課(人権政策課)

P.(87) 番号(20-23) 担当課(人権教育指導室)

(鈴木委員)

P.78の対応はとても大切だと思います。このテーマを考えるうえで、P.31や87の講演内容について紹介していただきたいと思います。

(回答)

課名(熊本市立必由館高等学校、人権教育指導室)

(熊本市立必由館高等学校)

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大によって引き起こされる差別を防止するため、また生徒の思いやりの意識を育てるため、新型コロナウイルスの罹患経験がある方をお呼びして、全職員、全生徒に向けて講演会を開催しました。講師自身が罹患の辛さや周囲の温かな対応が支えとなってくれたことを切実に語っていただき、生徒の率直な質問にもしっかりと答えていただきました。

(人権教育指導室)

FM791 地域密着型パーソナリティーの水野直樹様をコーディネーターとして、前田強様(馬肉料理「天國」店主)の講演会を集合研修とZoom(オンライン)研修を選択する形で実施しました。内容は、前田さんが新型コロナウイルスに感染される前のことから、闘病中の様子、苦しい中で考えたことや支えになったこと、店名公表に踏み切った理由などであり、水野さんの共感的な引き出し方もあって、前田さんの当時の思いがぐっと胸に迫ってきました。

またさらに、前田さんは快復された現在の様子を話されるとともに、新型コロナウイルスに係る差別的言動に対する思いや、経験して分かったことや気づいたことを、優しい語り口で私たちに丁寧に伝えていただきました。普段から人とのかかわりを大切にしておられるからこそ、困難な中でもつながりは切れることなく、温かく前田さんを支えるものとなっていたのだと感じる研修でした。

P. (10) 番号 (02-08) 担当課 (保育幼稚園課)

(米澤委員)

コロナ禍ではあっても、各種研修は職員のキャリアアップにとっても非常に重要です。せっかく計画していただいた研修が、コロナ感染拡大防止のために中止になるのは残念です。代替手段として、オンライン研修を開催いただくなど、幼稚園・保育園の多くの職員が学ぶことができる機会を設けていただきたくお願い申し上げます。私たち保育の現場でもオンラインを活用し、勉強会を実施しながら学ぶ機会を確保しております。さらに行政からの指導も仰げれば、より充実した家庭支援につなげていけると考えます。

コロナ感染防止による、ステイホームが増加したことにより、園においても虐待を疑われる園児がおります。私たち幼稚園では、例年4月に家庭訪問を実施しておりましたが、コロナ禍、面談に切り替えております。コロナ禍ではあっても、コロナ禍を考慮した家庭訪問の在り方を再考し、家庭訪問を実施いたしました。幸い今のところ、園でも子どもたちの見守りを続け、子どもたちも無事に過ごしておりますが、やはり家庭の現状を知ること、保護者との関係を深めていくことが、家庭にとって、子どもにとって、又園にとっても大切なことであると実感しております。子どものことで困ったことがあったら遠慮なく相談できる体制を常に用意し、保育幼稚園課や児童相談所と連携を図りながら対応しております。

コロナ禍はもうしばらく続きそうですが、これにより虐待が増加したりといったことがないように、支援、相談、見守り等に力を注いでまいります。各行政機関におきまして、コロナ禍に対応した支援を是非お願い申し上げます。

(回答)

課名 (保育幼稚園課)

研修については、保育の質の向上に向けて計画を進めてまいります。
コロナ禍の中、オンラインの活用なども進めていきます。

P. (30) 番号 (4-14) 担当課 (総合支援課教育相談室)

(米澤委員)

相談件数が、令和元年度と比べると160件近く減少しておりますが、対面の相談ということもあり、相談を遠慮された方が多かったのでしょうか？また、コロナ関連で、相談窓口が一時的に閉鎖されたのでしょうか。

課題に①保護者が子どもの障害を受容できない②保護者の理解が得にくい③学校で適切な対応が出来ていないなどの理由で適切な支援が難しいケースがある、④相談内容や就学までの見通しが持ちにくく、不安を感じられることがあるとありますが、相談により支援を受けられた方も多かったのではないのでしょうか。今後とも適切な相談事業をお願いできればと思います。

《次ページへ続く》

子どもの発達支援については、私共城北幼稚園現場でも熱心に取り組んでいるところでもあります。支援を要する子どもたちの保育ニーズは年々高まっており、園でも多くの子どもたちを受け入れております。できるだけ質の高い支援を実施すべく取り組んでおりますが、どうしてもプラスアルファの職員配置が必要となり、人件費負担が増加する傾向にあります。子どもたちにより良い支援を行うためにも、さらなる行政の支援をお願いいたします。

(回答)

課名(総合支援課教育相談室)

相談窓口を休止する措置はとりませんでした。口腔内を観察する検査については感染リスクが高いという理由で4、5月の休校期間中休止しておりました。相談を遠慮された保護者も一部おられましたが、多いというほどではありませんでした。4、5月の相談件数が前年比144件減少しており、それが年間の160件減に直接的な影響を与えたものと思われます。

5

P.(40) 番号(07-02) 担当課(人権教育指導室)

(米澤委員)

コロナウイルス感染症の影響により中止になった「性的マイノリティ」に関する人権問題の研修は、人間一人一人の人権を深く認識し、指導方法を改善するためにも、人権教育の推進のためにも必要なことと考えます。研修の機会を公立のみならず私立幼稚園や私立保育園にも広げていただきますよう、お願いできればと思います。

私たちの園でも勉強会を実施し、現場で考慮すべきことを徹底する等、例えば名前の呼称も「さん」付けをするといったことを行っております。このような各園の事例を共有し、多くの職員が研修に参加できるリモート研修等の機会を設けていただければ幸いです。

(回答)

課名(人権教育指導室)

上記の性的マイノリティに関する研修については、講師の研修の録画許諾も含め、対象者を広げることは難しいところです。しかし、他に性的マイノリティに関する研修を企画しており、Web 講座として公開する予定です。こちらを保育幼稚園課を通してご案内したいと思います。

毎年、保育幼稚園課の依頼を受けて、人権保育研修会で講話を行っています。研修内容についても、主催者側と事前に打ち合わせる機会がありますので、より先生方の実践に結びつくような研修内容にしていきます。

P. (59) 番号 (13-01) 担当課 (河内交流室・公民館)

(内田委員)

インターネットによる誹謗中傷が深刻な社会問題となっている中、とてもよい取り組みだと思う。

中学生の7割以上がスマホを所持していると言われていたが、家庭内でルールを決めても、なかなか目には行き届きにくい。小学生から学校単位や地域でこういった取り組みができると良いと思う。

また、親子でSNSについて考えるような講座があってもよいのではなかろうか。

(回答)

課名 (河内交流室・公民館)

今回は河内公民館管内の小中学校の依頼により、この講座を実施しております。今、知っておくべき大切な内容だと考えますので、親子をはじめ、様々な年代の方々に学んでいただくような講座を企画実施して参りたいと思います。

P. (71) 番号 (20-08) 担当課 (北部まちづくりセンター・公民館)

P. (73) 番号 (20-10) 担当課 (ふれあい文化センター)

P. (78) 番号 (20-15) 担当課 (人権政策課)

P. (80) 番号 (20-16) 担当課 (人権政策課)

(門田委員)

新型コロナウイルスの感染者やその関係者に対する人権問題については、誰もが新型コロナウイルスに感染するという点で、最も身近な人権問題ですが、身近過ぎて認識しづらい人権問題とも感じています。

このような公の場での啓発活動が、新型コロナウイルスに関する人権問題の存在を知らしめるのに大変有用だと思いますので、今後も引き続き当該施策・事業の継続を希望いたします。

(回答) 課名 (北部まちづくりセンター・公民館、ふれあい文化センター、人権政策課)

(北部まちづくりセンター・公民館)

これからも新型コロナウイルス感染症に関する人権問題についての提起及び啓発活動に継続して取り組んでいきます。

(ふれあい文化センター)

これからも新型コロナウイルスに関する人権問題についての提起を継続して取り扱っていく予定です。

(人権政策課)

今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら継続的な啓発活動、人権意識の向上を図っていくことが重要であると考えます。

8

P. (1) 番号 (O1-O1) 担当課 (男女共同参画課)

(高橋委員)

You Tube 動画配信によるDVセミナーの開催はとても良い試みだと思いました。これまでのようなセミナー開催も必要なのだと思いますが、今回のようなセミナーは、インターネット環境が整っていれば、いつでも聴講できることや若い世代のデートDV等の理解も得られる良い取り組みだと思いますので、今後もこのようなセミナーが定着していくことを期待します。

(回答)

課名 (男女共同参画課)

新型コロナウイルス感染防止の観点から、DV防止セミナーをYouTube動画配信により開催いたしました。環境を整えばどこでも聴講できる利点もあり、若い世代への啓発の幅が広がったと感じています。

今後も、幅広い年齢層へ啓発が浸透するよう検討してまいります。

9

P. (58) 番号 (12-O1) 担当課 (生活安全課)

(高橋委員)

報告書の中で「残存する課題」として、「広報啓発や関係機関等との連携強化」とありますが、具体的な取り組みは計画されていますでしょうか？ 例えば、同じ区役所内でのワンストップサービスのようないっしょでの相談対応等の計画があればお聞かせ願いたく存じます。

(回答)

課名 (生活安全課)

広報啓発につきましては、広く市民に対し、犯罪被害者週間等を通じて被害者やそのご遺族・ご家族の置かれた立場や心情に心を寄せ、理解を求める取組を進めてまいります。

また、関係機関との連携につきましては、市に寄せられた相談について、くまもと被害者支援センターをはじめとする関係機関と連携し、円滑に支援につなぐことができるよう、研修会等を通じて情報交換を図ってまいりたいと考えております。

10

P.(1) 番号(O1-01) 担当課(男女共同参画課)

(甲斐委員)

令和2年度DV相談件数で中央区が極端に少ないが、これは彼の区の人
口ドーナツ化現象によるものか否か。

(回答)

課名(男女共同参画課)

令和元年から中央区と男女共同参画課においてDV相談事業のすみ分
けを行い、中央区へ相談されたDV相談は基本的に男女共同参画課相談室
で対応することとしており、中央区の相談件数が少なくなっているのは、
こうした事業のすみ分けによるものが大きな要因として挙げられます。

資料では、DV相談件数について男女共同参画課相談室とDV相談専用
電話は合算して計上しています。

人口ドーナツ化現象によるものかについては、現時点で把握できており
ません。

11

P.(6) 番号(O2-04) 担当課(幸田まちづくりセンター)

P.(34) 番号(O6-02) 担当課(幸田まちづくりセンター)【再掲】

(甲斐委員)

10の残存する課題について、戦前の我が国もかくありき。

今後超少子、高齢社会問題により、日本の安全神話は崩れ、格差と危険
を伴う社会の出現が予測されることの理解も併せて必要と思われる。

(回答)

課名(幸田まちづくりセンター)

今後の少子高齢化社会の到来に伴い予測される社会課題の理解を深め
るための人権教育・啓発に取り組んでいきます。

12

P.(29) 番号(O4-13) 担当課(南部まちづくりセンター)

(甲斐委員)

当事者による障がいを取り巻く環境の話は、健常者にとってインパクト
があり、自分自身のノーマライゼーションを振り返るのに有効である。今
後もこの様な企画の拡充が望まれる。

(回答)

課名(南部まちづくりセンター)

小中学校と連携し今後も引き続き障がいを持つ方の講演会を増やして
いきたいと考えています。

13

P.(31) 番号(05-01(-20)) 担当課 (熊本市立必由館高等学校)
(甲斐委員)

新型コロナウイルス感染者への差別、迫害などが新たな問題として生じてきているのではないかと。

その実態調査や対応への取り組みは如何に。

(回答)

課名(熊本市立必由館高等学校)

新型コロナウイルスに関する人権講話を行う前に、生徒向けにGoogleformを利用して事前アンケートを行い、不安に感じていることや疑問に感じていることを集約しました。生徒の思いや不安を踏まえて、担任を中心として、誤った情報を信じないこと、感染した人やその家族が最もつらい思いをしていることなどを説諭しました。加えて、保護者向けに文書を配布し、新型コロナに係る差別・偏見の防止について啓発しました。

14

P.(47) 番号(08-07) 担当課(南部まちづくりセンター)
(甲斐委員)

絵本作家水俣病当事者による実体験も踏まえた読み語りは斬新であり、今後も広く普及させて欲しい。

(回答)

課名(南部まちづくりセンター)

この講演会は今後も継続して実施していきたいと考えています。

15

P.(57) 番号(11-01) 担当課(生活安全課)
(甲斐委員)

出所者への理解が就労の機会につながり、ひいては社会の安全、自己の安全と安心した暮らしやすさに繋がるということの周知徹底を望む。

(回答)

課名(生活安全課)

今後も“社会を明るくする運動”をはじめ各種機会を捉え、罪を犯した人等の人権や、円滑な社会復帰に対する市民の皆様のご理解とご協力を呼び掛けてまいります。

16

P.(59) 番号(13-01) 担当課(河内交流室・公民館)

(甲斐委員)

インターネットによる人権侵害に対して加害者へのペナルティはどの様に進展しているのか。

(回答)

課名(河内交流室・公民館)

講演会では、生徒に向けてインターネットを使用するに際して守るべき事柄について説明があり、お尋ねの件に関する話はありませんでした。

17

P.(83) 番号(20-19) 担当課(託麻まちづくりセンター)

(甲斐委員)

アンガーマネージメントは非常に有効な技法であり、この研修の宣伝には「怒らないあなたになるために」「ストップザ怒り」etc のコピーで集客を図って欲しい。(あおり運転にも効果あり)

(回答)

課名(託麻まちづくりセンター)

ご提案いただいたご意見をもとに、分かりやすく幅広い層に興味を持っていたような宣伝方法について検討してまいります。

18

P.(9) 番号(02-07) 担当課(人権教育指導室)

(植田委員)

講演のテーマが「子どもの自尊感情を高める」という内容でとても良いと思います。いじめ等の問題は自尊心の低さから他者を貶める行為に繋がって生じることもありますので、教員の方が知っておくととても効果的だと思います。今回は残念ながら中止でしたが、再度企画していただきたいと思います。

(回答)

課名(人権教育指導室)

本年度再企画し、8月6日(金)にオンラインで実施しました。「子どもが生き生きと育つ学級づくり～キーワードは『3つの自尊感情』～」という演題で、元大阪教育大学教授・学級文化研究会代表の園田雅春先生にご講話いただきました。

19

P. (10) 番号 (02-08) 担当課 (保育幼稚園課)

P. (11) 番号 (02-09) 担当課 (保育幼稚園課)

(植田委員)

子どもの人権意識を育むためには、保護者の人権意識が高い必要があると思います。「就学前における子どもの人権教育について」というテーマで子どものために考える良い機会になるテーマだと思います。こちらも初回は中止となられたようなので、可能でしたら再度企画していただきたいと思います。

(回答)

課名 (保育幼稚園課)

今年度も2回の研修を計画しています。対面形式の研修の希望もあり、計画していますが、新型コロナの感染レベルが上がり難しい時にはオンラインでもできるよう講師の方との交渉も行っているところです。

20

P. (26) 番号 (04-10) 担当課 (障がい保健福祉課)

(植田委員)

障害のある人にとって、公的機関は就職の最初のステップとして、候補に挙がる人が多いです。熊本市が率先してこのような取り組みを行い、また、一般就労にも結び付けられていることはとても良い取り組みだと思います。

チャレンジ雇用は最長2年となっておりますが、任期満了後にそのまま雇用されることはないのでしょうか。多くの方を対象にしたい等、色々なお考えがあることと思いますが、慣れた職場でそのまま働けるとご本人も安心なのではないかと思いました。

(回答)

課名 (障がい保健福祉課)

チャレンジ雇用は、障がいのある方が国や地方公共団体等で働いた経験をもとに、一般企業への就職につなげることを目的とした制度であるため、任期満了後に継続雇用することはありませんが、任用期間中においてジョブコーチによる求職活動への同行や情報提供等を行うことで、任期満了後における一般就労への支援を行っています。

2 1

P. (30) 番号 (04-14) 担当課 (総合支援課教育相談室)

(植田委員)

とても大切な取り組みと思います。保護者の障害受容については、難しい課題ではありますが、一つの支援の方向性として、既に取り組まれているかもしれませんが、ロールモデルになるような人や団体を紹介することも良いかもしれません。

(回答)

課名 (総合支援課教育相談室)

お子様の障がいについて保護者が受容するまでの過程は様々です。保護者の実情に応じて有益な情報を提供することは必要ですし、その中にはロールモデルになるような人物や団体に関するものも含まれます。本室でもケースに応じた対応をしていきます。

2 2

P. (40) 番号 (07-02) 担当課 (人権教育指導室)

(植田委員)

性的マイノリティについて、近年認知度が高まってきておりますので、正しく理解を広げるためにも、可能でしたら再度企画していただきたいと思います。

(回答)

課名 (人権教育指導室)

本年度再企画し、9月16日(木)にオンラインで実施の予定です。講師はFRENS 代表、Proud Futures 共同代表、小野アンリ 様です。

P.(31) 番号(05-01) 担当課(熊本市立必由館高等学校)

P.(33) 番号(06-01) 担当課(熊本市立千原台高等学校)

(中山委員)

熊本市立高校では、例年テーマを決めて人権教育がされていると思われますが、小学校・中学校については各まちづくりセンターから学校に働きかけて講演などが実施されているということなののでしょうか？
すべて学校で定期的に講演等がされているのか、一部の学校のみなのか教えてください。

(回答) 課名(熊本市立必由館高等学校、熊本市立千原台高等学校)
(熊本市立必由館高等学校)

本校では人権講話を毎年実施しています。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大という特殊な状況にあったことから、新型コロナウイルス罹患者に対する偏見や差別心を生まないように、罹患体験者を講師に迎えて講演を行ったところです。

(熊本市立千原台高等学校)

本校においては、定期的に講演会等を実施しています。今年度は、11月に講師を招聘してLGBTs講演会を実施予定です。

(人権教育指導室)

公民館が協力して、「ハートフル講演会」として希望する園・学校で実施しています。令和2年度は合計25回実施しました。学校から企画を公民館に相談することもあれば、公民館側から学校に働きかけることもあります。

小中学校では、授業の一環として人権教育の講演をしているところもあります。

24

P.(39) 番号(07-01) 担当課(男女共同参画課)

(中山委員)

性的マイノリティに関する人権問題はとてもデリケートで啓発も難しいところだと思います。対象が市職員、市民全般となっていますが、小学生や中・高校生など、子どもにむけた出前講座プログラムやセミナーの予定はありますか。

(回答)

課名 (男女共同参画課)

男女共同参画出前講座のテーマの一つとしてLGBTも含まれており、世代を問わず幅広く利用できることとしております。

小・中学生や高校生限定の出前講座等のプログラム作成の予定はありませんが、今後もLGBTに関する出前講座をはじめ、市民向けのLGBT啓発セミナー(オンライン開催)を実施する予定です。

25

P.() 番号(-) 担当課(人権政策課)

(中山委員)

令和2年度は個別の事業よりも全般的に新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度あったのかが気になっています。また、工夫された点や今後の展望があれば合わせて教えて頂きたいと思います。

(回答)

課名 (人権政策課)

今回の実施状況報告書においては、新型コロナウイルス感染症の影響で中止をした課もありますが、人数の制限やリモート等でほとんどの課が実施しております。

また、人権政策課では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染者やその関係者に対する誹謗中傷などの人権侵害や風評被害が喫緊の課題となっていたため、びふれす熊日会館の大型スクリーンやサクラマチデジタルサイネージ等での人権啓発テレビCM放映、ポスターやチラシの配布、熊本市ホームページや市政だより等の人権啓発を行いました。

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中で、今後も人数の制限やリモートでの研修会や講演会等人権意識の向上を図るための啓発活動が重要であると考えます。

P.(5) 番号(02-03) 担当課(城南交流室・城南公民館)
 P.(7) 番号(02-05) 担当課(北部まちづくりセンター・公民館)
 P.(13) 番号(03-01) 担当課(高齢福祉課)
 P.(29) 番号(04-13) 担当課(南部まちづくりセンター)
 P.(35) 番号(06-03) 担当課(北部まちづくりセンター・公民館)【再掲】
 P.(42) 番号(08-02) 担当課(大江交流室・公民館)
 P.(43) 番号(08-03) 担当課(城南交流室・城南公民館)
 P.(55) 番号(09-06) 担当課(人権教育指導室)
 P.(65) 番号(20-02) 担当課(秋津まちづくりセンター・公民館)
 P.(67) 番号(20-04) 担当課(東部まちづくりセンター)
 P.(87) 番号(20-23) 担当課(人権教育指導室)
 P.(93) 番号(20-28) 担当課(教育センター)

(民長委員)

2020年度は、コロナウイルス感染症蔓延の関係上今までにないオンラインでの事業開催が多く(記入番号)、今の時代に合ったとてももの良い取り組みだと思いました。

状況を踏まえての準備等は大変だったのではと思います。

事業内容は様々なので一概には言えませんが、「残存する課題に、配信にあたり機材やライセンス、著作権や肖像権などクリアすべき問題が多い」との意見が見受けられました。この問題に対しての今後の対策等はお考えでしょうか。

他にも、オンライン開催での良かった点や課題等あればお聞かせください。

また、オンラインでの事業は、コロナウイルス感染症が落ち着いたとしても行われるのでしょうか。

(回答) 課名(高齢福祉課、人権教育指導室、教育センター、大江交流室・公民館、城南交流室・城南公民館、北部・南部・秋津・東部まちづくりセンター)(高齢福祉課)

課題に対しての対応策は現在検討中です。

オンライン開催で良かった点は参加のしやすさ、感染リスクの軽減等があり、課題についてはオンライン開催に慣れていなかったり、機材が準備できない等の理由で講師を断られることがあるため、今年度は講師に対してのオンラインに特化したスキルアップ研修を計画中です。

また、コロナウイルス感染症が落ち着いても学校、企業ではタブレットの配布やリモートワークが進んでいる以上、今後もオンラインでの講座の推奨を継続していきたいと考えています。

(人権教育指導室)

オンラインによる事業開催の経験を重ねることで、機材の扱いや準備にも慣れてきました。教育センターの協力でZoom会議などの研修も受けることもできました。スタジオや機材が整備され、活用面での課題はクリア

《次ページへ続く》

されつつあると思います。

オンライン開催の良かった点としては、会場までの往復時間の削減、学びの機会の拡充（繰り返し研修を受けることができる）などがあげられます。課題としては、参加者の様子（どのように感じているかなど）が、温度として伝わってこない点などがあげられます。

今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着いても、集合研修とオンライン研修はそれぞれのよさを生かしながら併用していくことになると思います。

（教育センター）

今後の対策については現在検討中です。できるだけ市民がスムーズに受講できるように対応したいと考えています。まずは機材の準備・ライセンス等の獲得など整備を進めたいと考えています。

オンライン開催についての成果及び課題については記載のとおりですが、様々な方法があれば、受講希望も増えるのではないかと考えていますので、オンラインでの事業は今後も継続していく予定です。

（大江交流室・公民館）

オンライン開催で良かった点は、学年で集合することなく各クラスで児童らが講話を聞くことができ、密にならない状態で講話が聞けたことです。また、講師の方が関東在住の方で熊本市から遠く離れた方でも講師としてお迎えできたことです。

課題として、オンラインだと意見等が出にくいような感じがしました。コロナ感染症が収束してもオンラインの事業は継続していくと考えられます。その理由としては、A小学校、B小学校で同じ時間帯で講話等を設定すれば定員とか関係なく何人でも参加可能であるということです。そのためには、連絡調整をする係（社会教育主事）が必要となります。

（城南交流室・公民館）

今後の対策については現在検討中です。できるだけ市民がスムーズに受講できるように対応したいと考えています。まずは機材の準備・ライセンス等の獲得など整備を進めたいと考えています。

オンライン開催についての成果及び課題については記載のとおりですが、様々な方法があれば、受講希望も増えるのではないかと考えていますので、オンラインでの事業は今後も継続していく予定です。

（北部まちづくりセンター）

ご指摘の通り、配信にあたっては機材やライセンス、著作権や肖像権などクリアすべき問題が山積しています。一遍にはできませんが、関係諸機関とも連携しつつ、1つ1つクリアしていきたいと考えています。

オンライン開催での良かった点としては多くの方々が視聴できたというところが良かったです。また課題としては、Zoomの接続に時間がかかり講座のスタートが遅れた点です。事前準備等にもっと細心の注意を払う必要性を感じました。

また、オンラインでの事業は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたとし

《次ページへ続く》

ても目的に応じて、有効に活用していく所存です。

（南部まちづくりセンター）

オンラインでの講演会は県外の講師を現地に招聘せずに実施できるなど費用面その他で種々のメリットがあります。今後も必要に応じて可能な範囲で実施していきたいと思います。

（秋津まちづくりセンター）

今回は急きょ、今可能なオンライン配信のツールとして「YouTube（一般公開）による動画配信」を選択しました。動画配信にあたり今回は次の3点について対策し臨みました。①撮影後の動画の権利については熊本市公民館に帰属することを講師と確認（承諾書）。②YouTubeによる動画配信は、誰でも視聴可能な「一般公開」にするか、申込者のみ視聴可能な「限定公開」にするかについては、講師と相談し講師の承諾を得、後者の「一般公開」とした。③講演会で使用する予定であった出囃子の音楽は、YouTubeで流れた場合著作権に抵触する可能性があるので事前に音源を別に手配。

講座の内容や目的によっては、Zoomなどによる双方向の同時配信が効果的と考えられます。ライセンスや機材の準備が整い次第、それに応じた内容を行っていききたいと思います。

（東部まちづくりセンター）

新型コロナウイルスが落ち着いたとしても、遠方の講師による講演の実施や自宅からの受講を希望される方のニーズに対応するなど、オンラインの利点を生かした講座を実施していきたいと考えています。

27

P.（20）番号（04-04）担当課（総合支援課）

（民長委員）

展示会場を変更されたことにより来場者が昨年度より倍増し多くの人に支援学級の子どもたちの活動の理解が深まり、また子供たちも多くの方に見てもらうことにより自信にもつながったと思います。

今後もぜひ同じ場所で展示していただければと思います。

（回答）

課名（総合支援課）

本年度も、昨年と同じ、熊本城ホールエントランスロビーで開催する予定で、準備を進めています。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、Web開催になることもあります。

P.(26) 番号(04-10) 担当課(障がい保健福祉課)

(民長委員)

チャレンジ雇用新企画でしょうか(昨年度までは記載がなかったので認識不足であれば済みません) 職員として雇用し企業に繋ぐ、とても素晴らしい取り組みと思います。今後の発展にも期待します
残存する課題へのお考えもお聞きしたいです。

(回答)

課名 (障がい保健福祉課)

チャレンジ雇用は、障がいのある方が国や地方公共団体等で働いた経験をもとに、一般企業への就職につなげることを目的とした制度であり、平成19年度から行っているところです。
今後の課題としては、障がいにおける特性によって、一般企業への就職につなげることが難しい方への対応をどのようにしていくのかがあります。

P.(59) 番号(13-01) 担当課(河内交流室・公民館)

P.(60) 番号(13-02) 担当課(熊本市立必由館高等学校)【再掲】

(民長委員)

児童・生徒にとって、とても大切な講話だと思います。
課題に対しての対応方針/対応策も素晴らしい 児童・生徒への意識付けのためにもぜひ行っていただきたいと思います。
必由館高校の今年度の取り組みも期待致します。
ただ、昨年度は情報モラルに関する取り組みが少なく思えます。
今とても大切なことだと認識いたしますが理由をお聞かせいただきたく思います。

(回答)

課名 (河内交流室・公民館、熊本市立必由館高等学校)
(河内交流室・公民館)

今、知っておくべき大切な内容ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、公民館の主催講座実施件数も例年の二割以下となり、そのため、全ての内容において件数が少なくなっております。

(熊本市立必由館高等学校)

1年生の人権教育ホームルームでは例年実施しており、スマホ教室などと併せて情報モラルの向上を図っています。本年度は夏季休業期間を利用して情報モラルに関する職員研修を実施する予定であり、教科指導や生徒指導とも関連付けながら意識深化を図ってまいります。

30

P.(84) 番号(20-20) 担当課(東部まちづくりセンター)

(民長委員)

戦争の恐怖が薄れゆく現代、特に子どもたちにとって体験談を聞く貴重なことだと考えます。

課題にもありますように多くの子どもたち(大人にも)に聞く機会を設けていただきたいと思います。

(回答)

課名 (東部まちづくりセンター)

同様の講演会を今後も継続して実施していきたいと考えています。

さらに、今年度中に戦争の体験談を教材(ビデオ)としてまとめ、小学校に提供することなどを計画しています。

31

P.(87) 番号(20-23) 担当課(人権教育指導室)

(民長委員)

新型コロナウイルス感染症についての人権問題への取り組み、正に今考えなくてはならないことだと思います。

オンライン配信での取り組みでの効果内容の記載もわかりやすいです。

ただ、これだけ大きな話題でコロナウイルス感染症に関しての人権問題が取り上げられているにもかかわらずそれを題材にした取り組みが少なく感じました。(他の課など)

今後は、新たな取り組み(実施策)の予定はおありでしょうか。

(回答)

課名 (人権教育指導室)

新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見を生じさせないための取組として、学習資料や研修資料(動画)の配付及び保護者へのメッセージなどを繰り返し行っています。新型コロナウイルス感染症に関しての情報も時間を経るにつれ様々な方向に広がっています。今後も状況に応じて対応を進めてまいります。

3 2

P. (93) 番号 (20-28) 担当課 (教育センター)

(民長委員)

臨任研修での効果は、記載されてありますが、課題と対応方針/対応策は記載がなかったことが気になりました。

(回答)

課名 (教育センター)

生徒指導や保護者対応、人権問題等、学校で直面する様々な事例問題から研修者が選択できるようにしているので、ニーズに応じた事例を選択できる良さがあります。しかし、人権問題に関する事例を選択しない場合も想定されることが課題として挙げられます。対策としては、研修のねらいに応じて人権問題に関する事例を必ず 1 つ選択するという方法が考えられます。

3 3

P. (1) 番号 (01-01) 担当課 (男女共同参画課)

(上内委員)

DV 等の相談体制が十分図られて DV 防止を推進されている。人権擁護委員からの要望として、予防的な対策を図ることも重要ではないかと考えています。人権擁護委員でつくる男女共同参画委員会では、中学生向けの「デートDV」と題して啓発活動を行っています。以前は、この啓発活動への希望が少なかったようです。今年は、現在のところ3校の中学校から希望があり、2校は実施ができ、大変喜んでいます。毎年、3～5校の中学校に対してこのような啓発活動ができれば DV 防止等に役立つのではないかと考えています。毎年の中学校の割り当て等を考えていただけると大変ありがたいと考えています。

(回答)

課名 (男女共同参画課)

男女共同参画出前講座の中で、DV防止に関する出前講座を実施しており、市内の中学校からは令和元年度は4件、令和2年度は1件の申し込みがございました。

若年層、とりわけ思春期を迎える中学生に対してのデートDV啓発は大変効果的であると認識しております。

学校ごとの指導方針の違いや生徒の成長段階により必要性を判断していただくためにも、割り当てではなく申込によるものとさせていただいております。

34

P.(96) 番号(20-31) 担当課(植木ふれあい文化センター)

(上内委員)

ここの「9 効果」に記入してある「年々相談者が減少してきており、人権に対する相談は少なく、多くは生活相談となっている。」とあります。減少の原因として、どんなことが考えられるのか教えていただければと思います。

人権擁護委員の活動の1つに、各区役所で人権相談を行っています。昨年度は、コロナの影響でほとんど相談活動ができませんでしたが、相談が少ないのが現状でした。このような相談の減少傾向に対する対策を今後お持ちであれば教えていただければと思います。

(回答)

課名 (植木ふれあい文化センター)

平成23年度から26年度の相談件数117件のうち78件が各種申請手続等の行政手続に関する相談でしたが、その後申請手続に関する相談件数が大きく減少してきました。なお、平成27年度の相談件数36件中22件は、この年の4月から10月までにささえりあ植木の協力により臨時的に実施した健康相談によるものです。申請手続に関する相談件数の減少の要因としては、広報媒体の拡充と申請手続の簡素化によるものと推察しています。因みに令和2年度の新型コロナウイルス特別定額給付金に係る申請手続の相談件数は2件に留まっています。

また、相談件数の減少への対策については、広報誌による周知や講座などを介して当館の活動を多くの方に知っていただくように努めています。

35

P.() 番号(-) 担当課(人権政策課)

(上内委員)

様々な課題についての人権施策関係各課でケース会議等が実施されていると思われますが、そのような会議に、人権擁護委員も参加できないかと考えているのですがどうでしょうか。

(回答)

課名 (人権政策課)

人権施策関係各課が行うすべてのケース会議に参加できますとは申し上げられませんが、地域に密着した組織、人権擁護機関のご意見等をいただく際にはご協力をお願いすることになります。

P. () 番号 (-) 担当課 ()

(鈴木委員)

講演などの規格に関して、開催日時、講演題目が記入されていないページが見られます。

(回答)

課名 ()

記入のなかった部分について、追記いたします。

P. (5) 番号 (02-03) 担当課 (城南交流室・城南公民館)

城南町人権文化セミナー (第2回)

講演題目 「ストリートチルドレンに学ぶ生き方」

講師 NGO FREE SCHOOL 代表 寺本 真将 氏

P. (6) 番号 (02-04) 担当課 (幸田まちづくりセンター)

P. (34) 番号 (06-02) 担当課 (幸田まちづくりセンター) 【再掲】

人権教育講和

講演題目 「人権教育講演会：ストリートチルドレンについて」

講師 NGO FREE SCHOOL 代表 寺本 真将 氏

P. (10) 番号 (02-08) 担当課 (保育幼稚園課)

熊本市保育所等職員合同研修会「第1回人権保育・教育研修会」

講演題目 「人権擁護について」

講師 未定

日時 8月予定

場所 未定

P. (16) 番号 (03-04) 担当課 (人材育成センター)

P. (27) 番号 (04-11) 担当課 (人材育成センター) 【再掲】

新規採用職員研修

講演題目 「障がい者への合理的配慮」

講師 ヒューマンネットワーク熊本事務局 次長 植田 洋平 氏

あそどっぐ(芸人)阿曾 太一 氏

福祉疑似体験

アイマスク体験 社会福祉法人 熊本市社会福祉協議会

車椅子体験 ヒューマンネットワーク熊本

P. (18) 番号 (04-02) 担当課 (東部まちづくりセンター)

P. (66) 番号 (20-03) 担当課 (東部まちづくりセンター) 【再掲】

教養講演会

講演題目 「見えないけれど、心に響く歌を届けます」

講師 大山 桂司 氏

《次ページへ続く》

P.(33) 番号(06-01) 担当課(熊本市千原台高等学校)
人権教育講演会(ハートフル講演会)
講演題目 「見える異文化・見えない異文化 ～誤解から理解へ～」
講師 NPO 法人 外国から来た子ども支援ネットくまもと
代表 竹村 朋子 氏

P.(41) 番号(08-01) 担当課(中央まちづくりセンター・五福
交流室・五福公民館)

おでかけ公民館講座
講演題目 「みなまたから学ぶ思いやりの大切さ」
講師 絵本作家 三枝 三七子 氏

P.(42) 番号(08-02) 担当課(大江交流室・公民館)
講演会
講演題目 「みなまたから学ぶ思いやりの大切さ」
講師 絵本作家 三枝 三七子 氏

P.(43) 番号(08-03) 担当課(城南交流室・城南公民館)
城南町人権文化セミナー(第1回)
講演題目 「水俣病から学ぶ」
講師 吉永 利夫 氏

P.(44) 番号(08-04) 担当課(託麻まちづくりセンター)
おでかけ公民館
講演題目 「みなまたから学ぶ思いやりの大切さ」
講師 絵本作家 三枝 三七子 氏

P.(45) 番号(08-05) 担当課(東部まちづくりセンター)
ハートフル講演会
講演題目 「水俣病を知って見えてきたこと」
講師 絵本作家 三枝 三七子 氏

P.(67) 番号(20-04) 担当課(東部まちづくりセンター)
教養講演会
講演題目 「笑顔で語ろう人権問題」
講師 落語家 粗忽家 勘心 氏

P.(83) 番号(20-19) 担当課(託麻まちづくりセンター)
教養講演会
講演題目 「イライラの種を育てないために
～子育てに活かすアンガーマネジメント～」
講師 アンガーマネジメントコンサルタント 池田 福美 氏

《次ページへ続く》

P.(84) 番号(20-20) 担当課(東部まちづくりセンター)

ハートフル講演会

講演題目 「戦争と平和について」

講師 浦田 藤枝 氏

朝長 民子 氏